

健康長寿観光 フォーラム



入場無料
定員150名
要申込・先着順

基調講演

「観光から感幸の時代へ」(仮)

石森 秀三 氏 (北海道大学観光学高等研究センター長・教授)

委員会報告

「健康休暇運動の提言」

佐藤 博康 氏 (健康長寿観光調査検討委員会委員長
松本大学経営学部観光ホスピタリティ学科長・教授)

モデル地区 プレゼンテーション

北海道上士幌町 / 西村 孝司 氏 (北海道大学遺伝子病制御研究所・教授)

新潟県長岡市 / 石黒 義久 氏 (長岡市総合政策アドバイザー)

長野県木島平村 / 伊藤 建介 氏 (山手出版社代表取締役社長)

広島県三原市 / 大塚 彰 氏 (県立広島大学三原地域連携センター長・保健福祉学部教授)

沖縄県宮古島市 / 洲鎌 孝 氏 (財団法人沖縄観光コンベンションビューロー常務理事)

日時 **2008年3月10日(月)**
13:30~17:00 (開場13:00)

会場 **虎ノ門パストラルホテル**
新館5F「ミモザ」

(東京都港区虎ノ門4-1-1 / TEL:03-3432-7261 (代))

- 東京メトロ日比谷線神谷町駅 4b出口 より徒歩2分
- 東京メトロ銀座線虎ノ門駅 2番出口 より徒歩8分





健康長寿観光とは？

健康で生き生きとした人生を支援するためのツーリズムです。

- 一過性の観光ではなく健康長寿のライフスタイルを普及・定着するためのプログラム。
- 地域の豊かな自然環境、生活文化、食文化等を健康な暮らしの資源として活用。
- 子供から高齢者まで、多様な世代の健康への気づきや健康力の向上を支援・促進。
- 家族や仲間との交流を深め、健康で生きることの大切さや楽しさを実感できる旅行。

全国5市町村の協働で、このような観光の可能性について試行・検討を行ってきました。健康長寿観光フォーラムでは、これらの取り組みについて報告するとともに、新しい観光の形=「健康休暇」を提言します。

※Webサイト「健康長寿観光～Wellness life tourism」(wellnesslife-tourism.com)でも取り組みの内容を紹介しています。ご覧ください。

なぜ健康長寿観光なのか？

平成19年1月に「観光立国推進基本法」が成立し施行されました。同法でうたわれているように、心身の健康の保持増進のための観光旅行の振興は緊急かつ重要な課題です。

また、団塊の世代がリタイア時期に入り本格的な高齢社会を迎えるわが国においては、「健康で生き生きとした人生を全うできる社会（健康長寿社会）づくり」を推進することが緊急に求められています。

地域に目を向けると、多様な自然環境や、特徴的な風土と景観、伝統的な生業と文化、自然と共生する暮らしといった観光資源が残っていますが、これらを活用して、地域滞在型等の新しい観光プログラムを開発することで、健康長寿の社会づくり（健康・生きがい・趣味・仕事づくり等）、元気な地域づくりにつなげることができると考えられます。

◆ お申込方法 ◆

- 必要事項ご記入の上、右記までFAXにてお申し込みください。
- E-mail、TELでも受け付けています。下記必要事項をお知らせください。
- お申込多数の場合は先着順とさせていただきます。ご参加いただけない場合は連絡いたします。

■お問合・お申込

株式会社ノーザンクロス (担当/竹内、矢野)

E-mail: forum@wellnesslife-tourism.com

FAX: 011-232-4918 / TEL: 011-232-3661

住所: 〒060-0001 札幌市中央区北1条西5丁目3番 北一条ビル

■主 催 / 北海道上士幌町、新潟県長岡市、長野県木島平村、
広島県三原市、沖縄県宮古島市

■共 催 / 国土交通省、厚生労働省

※本フォーラムは平成19年度国土施策創発調査「健康長寿社会の実現に向けた地域滞在型観光等の推進方策に関する調査」により実施するものです。

FAXお申込欄 (切り取らずにお送りください)

FAX: 011-232-4918

お名前

ほか

名 所属

ご連絡先 E-mail

@

TEL

—

—

※申込多数で参加いただけない場合はご連絡いたします。